

# 草野心平・略歴

1903(明治36)年5月12日、上京。  
 現在の福島県いわき市小川町上小川に生まれる。両親兄弟姉妹と離れ、祖父母に育てられる。

1916(大正5)年(13歳)こ  
 の年、兄民平、母トメヨ、姉綾子が相次いで死去。4月、福島県立磐城中学校(現在の磐城高等学校)に入学。

1919年(16歳)11月、磐城中学校を4年2学期で中退。12月、運動の激化で、卒業をまなずにや

1921年(18歳)中国広東省広州の嶺南大学(現在の中山大学)に留学。

1923年(20歳)徴兵検査のため、江島やまと結婚。9月、群馬県前橋市に転居。11月、活版印刷者の大会)のため帰国の際、帰省。丹國を刊行。郷里で暮らす間、1928(昭和3)年(25歳)6月、農を志して帰郷。11月、断念して上京。

1927年(昭和2)年(24歳)台の焼鳥屋「いわき」を開店。

1928(昭和3)年(25歳)5月、麻布十番の安田銀行前に屋の二つだったニッポン山に登る。第1回読売文学賞(詩歌部門)員に推挙される。

1929年(昭和4)年(26歳)1947年(44歳)10月、郷里の「吾戸」を受賞。

1930年(昭和5)年(27歳)1948年(45歳)5月、詩集「吾戸」を命ずる。

1931年(昭和6)年(28歳)1949年(46歳)3月、文京区に居酒屋「火の車」を開店。1984年(81歳)いわき市名誉市民に推挙される。

1933年(昭和8)年(30歳)1950年(47歳)1988年(85歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1934年(昭和9)年(29歳)1951年(48歳)1989年(86歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1935年(昭和10)年(30歳)1952年(49歳)1990年(87歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1936年(昭和11)年(31歳)1953年(50歳)1991年(88歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1937年(昭和12)年(32歳)1954年(51歳)1992年(89歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1938年(昭和13)年(33歳)1955年(52歳)1993年(90歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1939年(昭和14)年(34歳)1956年(53歳)1994年(91歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1940年(昭和15)年(35歳)1957年(54歳)1995年(92歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1941年(昭和16)年(36歳)1958年(55歳)1996年(93歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1942年(昭和17)年(37歳)1959年(56歳)1997年(94歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1943年(昭和18)年(38歳)1960年(57歳)1998年(95歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1944年(昭和19)年(39歳)1961年(58歳)1999年(96歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1945年(昭和20)年(40歳)1962年(59歳)2000年(97歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1946年(昭和21)年(41歳)1963年(60歳)2001年(98歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1947年(昭和22)年(42歳)1964年(61歳)2002年(99歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1948年(昭和23)年(43歳)1965年(62歳)2003年(100歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1949年(昭和24)年(44歳)1966年(63歳)2004年(101歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1950年(昭和25)年(45歳)1967年(64歳)2005年(102歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1951年(昭和26)年(46歳)1968年(65歳)2006年(103歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1952年(昭和27)年(47歳)1969年(66歳)2007年(104歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1953年(昭和28)年(48歳)1970年(67歳)2008年(105歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1954年(昭和29)年(49歳)1971年(68歳)2009年(106歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1955年(昭和30)年(50歳)1972年(69歳)2010年(107歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1956年(昭和31)年(51歳)1973年(70歳)2011年(108歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1957年(昭和32)年(52歳)1974年(71歳)2012年(109歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1958年(昭和33)年(53歳)1975年(72歳)2013年(110歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1959年(昭和34)年(54歳)1976年(73歳)2014年(111歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1960年(昭和35)年(55歳)1977年(74歳)2015年(112歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1961年(昭和36)年(56歳)1978年(75歳)2016年(113歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1962年(昭和37)年(57歳)1979年(76歳)2017年(114歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1963年(昭和38)年(58歳)1980年(77歳)2018年(115歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1964年(昭和39)年(59歳)1981年(78歳)2019年(116歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1965年(昭和40)年(60歳)1982年(79歳)2020年(117歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1966年(昭和41)年(61歳)1983年(80歳)2021年(118歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1967年(昭和42)年(62歳)1984年(81歳)2022年(119歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。

1968年(昭和43)年(63歳)1985年(82歳)2023年(120歳)11月12日、急性心不全のため死去。翌年4月、郷里の常慶寺に埋葬される。



## 草野心平生誕120周年記念特集

1903(明治36)年、卯年の5月12日、後に「蛙の詩人」として知られる草野心平は、5人きょうだいの二男として福島県石城郡上小川村(現いわき市小川町)に産声を上げた。

実祖父は浪沢栄一を師に仰ぎ、自由民権運動家の河野広中と親交のあった実業家で政治家の白井遠平。父警が叔父に養子入りした縁から、義理の祖父母に育てられた。幼少時は腕白で癪が強い子供だったというが、県立磐城中学校(現磐城高校)を中退し上京後、慶應義塾大をへて中国に渡り、詩や短歌を志す。

酷い貧困を味わう中で新聞記者、屋台の焼き鳥屋、出版社の校正係などで食い扶持(ぶち)を繋(つな)ぎ、28(昭和3)年に初の活版印刷の詩集「第百階級」を発表する。「ふるさと」への想いを心層深くに抱え、あらゆる人々とともに生きようという高い理想を掲げて蛙、富士山、天、石などを主題に次々と詩を生み出す一方、高村光太郎、萩原朔太郎、中原中也、北原白秋らと親交を深め、中央詩壇の発展に寄与。ふるさとで文学を志す猪狩満直、三野混沌、吉野せいとも心の会話を繰り返した。現在の日本詩壇に天才があるとしたなら、私はその名譽ある「天才」は宮澤賢治だと言ひたい——賢治を世に出すため、天折後も力を尽くしたことは広く知られている。

昭和59年にはいわき市名誉市民、62年には文化勲章を受章。生涯1400篇余の詩を残したが、心平について語ることのできる市民はそう多くない。若い世代はなおさらだ。「ケルルン クック」の人だね。国語の教科書に掲載されている「春のうた」で、かろうじて分かる程度か。本市にはいわき市立草野心平記念文学館をはじめ、全国に誇る心平ゆかりの財産が多く残る。生誕120周年を機に、あらためて心平が残した偉業を振り返り、後世に伝えていきたい。

### 3部

## 割烹料亭 心月荘

いわき市平字大町33  
☎0246-23-3104 FAX.0246-21-7338

# 新春

本年もよろしく  
お願い申し上げます

## 別館 月の花籠

いわき市平字大町43 ☎0246-25-2733

ホール

小宴会

和室大広間

味わう喜びを  
真心こめて

ほっと寛いで  
いただきますように

安らぎの  
ひととき

# 大字上小川―草野心平のバックグラウンド

元市立草野心平記念文学館副館長 関内 幸介

福島県石城郡上小川村大字上小川―草野心平が生まれ育った場所です。

古い中世の街道は上平村清水から田んぼの中を過ぎて上小川の入口の表にいたりります。

表には草野紋十郎家や草野浅右衛門家がありました。北に進むと植

心平の父馨は、高藏の妹のクマと遠平との間に生れました。高藏

登は、遠平の三女で、馨の姉のサタと結婚しました。ふたつの草野

村の鎮守のお稻荷さまはどこに行ったのでしょうか。村の北

幕末に草野一族や白井家が中心となり、片寄平蔵と組んで戸渡山

草野家が現在のすがたになったのは明治時代です。その濫觴(らんしょう)は天文年間と

高藏家は、上小川村の江田新田の豪農草野の伴四郎家の一族で

高藏の妻のトメは、高藏の奥平津とを毎日徒歩で往復しました。

上小川の後原には榎田民藏の家があります。民藏は東京の馨の

天明飢饉に際しては小名浜代官蔭山外記の愛民仁政によって上小

共立社起業の原資となりました。遠平、高藏、紋十郎が会社の実務を

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

高藏は、上小川村の安養寺本堂や赤井嶽の常福寺の手水鉢を寄進

高藏の奥平津とを毎日徒歩で往復しました。

上小川の後原には榎田民藏の家があります。民藏は東京の馨の

天明飢饉に際しては小名浜代官蔭山外記の愛民仁政によって上小

共立社起業の原資となりました。遠平、高藏、紋十郎が会社の実務を

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

高藏の奥平津とを毎日徒歩で往復しました。

上小川の後原には榎田民藏の家があります。民藏は東京の馨の

天明飢饉に際しては小名浜代官蔭山外記の愛民仁政によって上小

共立社起業の原資となりました。遠平、高藏、紋十郎が会社の実務を

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

高藏の奥平津とを毎日徒歩で往復しました。

上小川の後原には榎田民藏の家があります。民藏は東京の馨の

天明飢饉に際しては小名浜代官蔭山外記の愛民仁政によって上小

共立社起業の原資となりました。遠平、高藏、紋十郎が会社の実務を

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

高藏の奥平津とを毎日徒歩で往復しました。

上小川の後原には榎田民藏の家があります。民藏は東京の馨の

天明飢饉に際しては小名浜代官蔭山外記の愛民仁政によって上小

共立社起業の原資となりました。遠平、高藏、紋十郎が会社の実務を

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

高藏の奥平津とを毎日徒歩で往復しました。

上小川の後原には榎田民藏の家があります。民藏は東京の馨の

天明飢饉に際しては小名浜代官蔭山外記の愛民仁政によって上小

共立社起業の原資となりました。遠平、高藏、紋十郎が会社の実務を

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

高藏の奥平津とを毎日徒歩で往復しました。

上小川の後原には榎田民藏の家があります。民藏は東京の馨の

天明飢饉に際しては小名浜代官蔭山外記の愛民仁政によって上小

共立社起業の原資となりました。遠平、高藏、紋十郎が会社の実務を

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開

戦後、上小川の西川五郎(旧姓柳内)が牧場跡に草スキー場を開



## 謹んで新年のお慶びを申し上げます



令和5年 元旦

**クレーンリース業**

高所作業・重量物据付・港湾工事  
その他一般クレーン作業

建設業登録(般2)第31621号

**株式会社 高萩重機**

いわき市四倉町細谷字飼料畑7  
☎34-1110

**高萩自動車工業(株)**

いわき市小名浜島字高田町35

**小名浜新工場設立  
板金・塗装**

**従業員募集中!!**

☎0246-88-8116

**大型ダンプ・アームロール  
レンタルは下記まで**

☎0246-23-1502

**米穀全般・集荷・販売**

**福島浜通米穀株式会社**

代表取締役社長 玉橋 利雄  
外 役員 一同

いわき市内郷高坂町大町三九の一 電話 三三七八七  
FAX 三三四九二

**福島県水産会館**

福島県漁業協同組合連合会  
福島県信用漁業協同組合連合会  
日本漁船保険組合福島県支所  
全国漁業信用基金協会福島支所  
全国合同漁業共済組合福島県事務所  
JF 共水連東北事業本部福島支店

いわき市中央台飯野四丁目三ノ一

# ひどく癪が強く、腕白な子

公益財団法人いわき市教育文化事業団

渡邊 芳一

いわき市の北方、阿武隈山系にそびえる岩峰、二ツ箭山からは、市内はもとより遙か太平洋まで望むことができる。今朝、その山頂で御来光を迎えた方もいたろう。

調に「なだらかな阿武隈の山脈のひとつところに。／大花崗岩が屹ッ立ってゐた。／鉄の鎖につかまつてよち登るのだが。／その二箭山のガキガキザラザラが。／少年の頃の自分だった。

学校) 在学中に民平、生母トメヨ、綾子を相次いで亡くしている。小学校卒業後、心平は福島県立磐城中学校(現磐城高等学校)に進学する。1916年のことだが、前々年に当時の平駅(現JRいわき駅)と小川郷駅(現JR小川郷駅)の間が開通したばかりだった平郡東線(現JR磐城東線)では始業に間に合う便がなかったため、約10キロを徒歩で登校した。当時の磐城中学

校は、ほぼ現在のいわき市立平第一小学校の敷地にあり、下校時は学校南側の坂道を下って樋小路に出、平駅から汽車に乗って帰宅したという。

後には心平が交友を結ぶ宮沢賢治や中原中也とは異なり、中学校時代の彼は文学とは無縁だった。柔道、庭球、陸上などの運動競技で汗を流し、川魚採りにも熱中する。そして、「勉強のかわりに私の頭と胸は恋愛でいっぱいだった」と回想しているように、人知れずある女学生に想いを寄せていた。

恋心とは裏腹に、それを隠そうとする心平は硬派を装うようになる。入学後、着続けた学生服はところどころが破れ、周囲からは「ワカメ」と呼ばれることを得意がり、上級生にとって

1903年、草野心平はその南麓、福島県石城郡上小川村(現いわき市小川町)で生まれた。姉綾子、兄民平、妹京子、弟天平がいたが、心平だけが生家で幼少期を過ごす。

／阿武隈の天は青く。／雲は悠悠流れてゐたのに。」という一節があるように、ひどく癪が強く、腕白な子だったという。養祖父母に溺愛されて育つが、上・下小川組合村立小川尋常高等小学校(現いわき市立小川小

校は、ほぼ現在のいわき市立平第一小学校の敷地にあり、下校時は学校南側の坂道を下って樋小路に出、平駅から汽車に乗って帰宅したという。

後には心平が交友を結ぶ宮沢賢治や中原中也とは異なり、中学校時代の彼は文学とは無縁だった。柔道、庭球、陸上などの運動競技で汗を流し、川魚採りにも熱中する。そして、「勉強のかわりに私の頭と胸は恋愛でいっぱいだった」と回想しているように、人知れずある女学生に想いを寄せていた。

恋心とは裏腹に、それを隠そうとする心平は硬派を装うようになる。入学後、着続けた学生服はところどころが破れ、周囲からは「ワカメ」と呼ばれることを得意がり、上級生にとって

ここまでは、いわば心平の第一の青春時代である。学生服姿の心平は数年間、平町(現いわき市平)界隈を闊歩しながらも、胸中にはやるせない片想いとともに、将来への希望と不安とが渦巻いていた。

とはいえ、その心の内は今の若者たちとどれ程の違いがあるだろう。朝夕、街で見かける学生たちの中に未来の大詩人がいるかもしれない、と想像するのは飛躍に過ぎるだろうか。



T. Nakajima 町平城磐 館真寫島中

草野心平・磐城中学校3年生(1919年1月2日)。台紙には「磐城平町 中島写真館」とある。草野好弘氏提供。



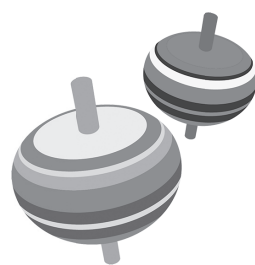
草野心平・磐城中学校1年生(1916年)

## 謹んで新年の

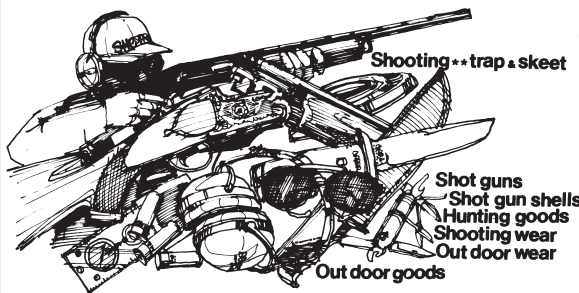
## お慶びを申し

## 上げます

令和5年 元旦



### 迎春



平銃砲火薬店 合資会社  
いわき市平字一丁目 ☎23-9231

いわき総合射撃場  
いわき市好間町北好間字下ヶ屋敷 ☎36-5151

静岡茶・海苔  
抹茶・茶器

# 茶の木村園

## 賀正

いわき市平字五色町八ノ二  
TEL 二一―五七〇四



草野トメヨと長男民平(1901年4月30日)  
＝草野好弘氏提供



草野心平・嶺南大学の学生時代(1924年  
3月頃)

1921年、中国広東省の嶺南大学に向かう草野心平の荷物には、靴が一つ。中には衣類とともに、継母が入れてくれた梅干しと香水、そして亡兄民平の遺稿であるノートが入っていた。

とは、心平が詩に興味を持つきっかけのひとつになったとされる。だが同級生から「Machine」(マシンガン)と呼ばれる程の勢いで詩を書くようになった。

母校の小学校から謄写版を借り、鉄筆で原紙に「死ぬまで書きつけてめた兄の片鱗であること」を実感しながらその作品を刻んでいくと、「だれも寝静まった夜更けなど原紙にくひ入る鉄筆の音にききいつたり、白くあらはれる字に見入つたりしてゐると、いつの間にか同じ机にきて、鉄筆をもつてゐるほく

の手をきゆつとにぎりしめる兄の手を感じたりした。この泪つぼろい感じと自分で書いたり刷つたりすることがいちばん自分を慰めてくれた」という。今のようには誰も情報端末を持ち、世界的な情報網を利用して表現活動を瞬時に受信できる環境ではない。だけに、当時の書物にはそれに近い役割が期待されていただろう。まだ無名の詩人が手づくりの詩集に込めた思いは、亡兄への鎮魂だけではなかったはず。

食店に持ち込み、販売を依頼した。その1冊を手にしたのが農民詩人の猪狩満直である。詩を書いていた満直は、先を越されて詩集が出たことに驚き、その奥付をもとに心平を訪ねた。この出会いがきっかけで心平は、やはり詩を書いていた三野混沌(吉野義也)を、そして後に混沌の妻となった吉野せいを知ることになり、彼らの深い人情に満ちた交友が紡がれていくのである。

# 無類の詩魂は軽々と時空を越える

渡邊 芳一

公益財団法人いわき市教育文化事業団

心平の生誕120年は節目の一つに過ぎない。蛙をはじめとした動物、植物、鉱物を凝視した微視的な視点とともに、それらを内包する大自然、そして宇宙の深淵に迫る巨視的な視点を持ち、その対象と同化しようとした詩人の作品を前にすれば、120年も刹那のことだ。阿武隈の天が青く、雲が悠々と流れていたら、心平の詩を読んでみるのもいい。彼の無類の詩魂は軽々と時空を飛び越え、いつも私たちのすぐそばにあるのだから。

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます



令和5年 元旦

6つの空間が織りなす安らぎの都

社会福祉法人 以和貴会



特別養護老人ホーム

### 聖徳荘

SEITOKUSO

- 特別養護老人ホーム
- 短期入所生活介護事業
- 通所介護事業
- 居宅介護支援事業

〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町金坂184-3  
☎(0246)45-2830 FAX(0246)45-2831

謹賀新年

## 精神科 泉保養院

医療法人 泉心会

精神科デイケア

院長 李 創 鎬

泉玉露一丁目18番地10 診療日 月～土 休診日 日曜日・祝日  
(泉駅北口徒歩5分) 時間 午前9時～午前12時  
TEL 56-6611(代) 受付 午前8時～午前11時30分

草野心平の詩と絵画



パステル画「無雲天」

「天」

草野心平は多作な作家で、生涯に約1400篇以上の詩を書きつづけている。「蛙の詩人」として

のイメージが強いが、その一方で「天」や「富士山」の詩人としても知られている。

心平は「玄玄の天」「螺細の青ガラス」「血染めの天」「エナメル天」など、多彩な言葉で天空を表現した。心平自身は他者から指摘されるまで「矢鱈に天を書いた」ことに気づいていなかったが、「雲の動きほど時間を意識させるものは私にはない」と言い、天を「時空混淆の場」と述べる心平の詩には、度々天、「或ひは空とか星雲とか天体のさまざま現象などが」登場している。

中国の嶺南大学に留学中、キリスト教に傾倒した心平は、結局は無神論者を自認した。その心平が評論集『詩と詩人』で「無神論者にとつては天以外に宗教はない」と語っているのは実に印象的である。

「富士山」

「富士山」もまた心平の主要な詩題の一つである。詩集『富士山』、『富士の全体』、棟方志功との共著である詩画集『富士山』と、富士山を主題にした詩集を3冊世に出している。「ギーンたる。／不尽の肉体。／腐しい白い大精神。」「黒黒おほきな。／日本の屋根。」「心平の富士山の描写からは、山体の雄大な存在感への愛が感じられる。心平は富士山を「存在を超えた無限なもの」「存在に還る無限なもの」と表現し、また好んで「不尽山」「不二」という書き方をした。



詩画集『富士山』

言い、「ガランの天の大きな虚無と。／きびしく光る山嶺との。／ねたましい程の愛の深み」を度々描写した。

心平は60歳を過ぎてようやく「自邸を建てたが、東村山のその家からは富士山を遠望することが出来た。」

「蛙」



書画「蛙語」

草野心平の詩題のなかで最も有名なものが「蛙」である。小学校3、4年生の国語の教科書に採用された詩「春のうた」は「ケルルンクック」の詩句で多くの人に知られている。

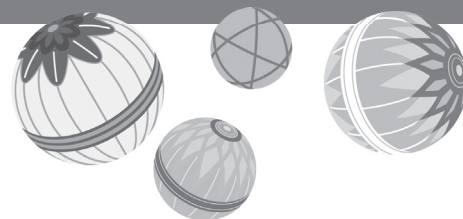
だが、蛙たちは「しみつたれ言はない。」「死んだら死んだで生きてゆく。」「こうした蛙たちの姿は、心平によれば、「蛙と私が半分半分になり、つまり蛙と私とを混ぜたものが作者になつて書くので」あり、また「蛙をみるのは『人間』をそのなかに見ることに過ぎなかつたかもしれない。」とも言っている。

心平の蛙の詩は、薄暗さや激しさの印象が強い。「秋の夜の会話」では、冬の訪れを前に「どかがこんなに切ないだらうね」と二匹の蛙が語り合う。「ヤマカガシの腹の中から仲間告げるゲリゲの言葉」は、蛇の牙にかかった蛙が、なお「おれのガイストでこいつの体を爆破するのだ」と吠える詩だ。《悠悠延延たり一万年のはての祝祭》を書いた「誕生祭」は、蛙たちの歓喜の爆発である。

そして心平の蛙たちは、へびや人間の子どもに襲わ

市立草野心平記念文学館  
学芸員 馬目 聖子

謹んで新年のお慶びを申し上げます



令和5年 元旦

みなさまの住まいづくり、まちづくりを支えます。

法一般財団法人 ふうくしま建築住宅センター

いわき事務所

いわき市平字童子町四一八 いわき建設会館3F  
☎(0246)1050  
URL: http://www.fkc.or.jp

未来へつなごう森と水

いわき市森林組合

代表理事組合長 田子英司  
他 役員一同

いわき市平字正内町一〇七ノ三 電二三一―一五九九

いわき市建設業協同組合

理事長 長谷川 浩一  
他 組合員一同

☎三三―一〇五二(代) FAX二二―一〇五二

迎春 本年もよろしくお願ひ申し上げます

いわき地区電気工事協同組合

理事長 斉藤 善夫  
副理事長 小宅 武夫  
同 和田 京司  
組合員一同

☎三三―二五三六(代) FAX二二―七七三二  
いわき市平字作町一丁目三ノ六



# 知られざる景勝地セドガロ

## 心平の初入溪を辿る

### いわき地域学会代表幹事

#### 吉田 隆治

『草野心平全集』や『草野心平詩全譜』などに使われている心平の年譜には、『昭和21(1946)年9月、上小川村江田の溪谷』『セドガロ』を『背戸岨』と命名、点在する滝や沢に『三連滝』や『猿の廊下』などそれぞれの名を付ける」とある。ほんとうにそうなのか。最初に疑問に思ったのは、日本交通公社が発行する雑誌『旅』の昭和23年2月号を読んだときだ。

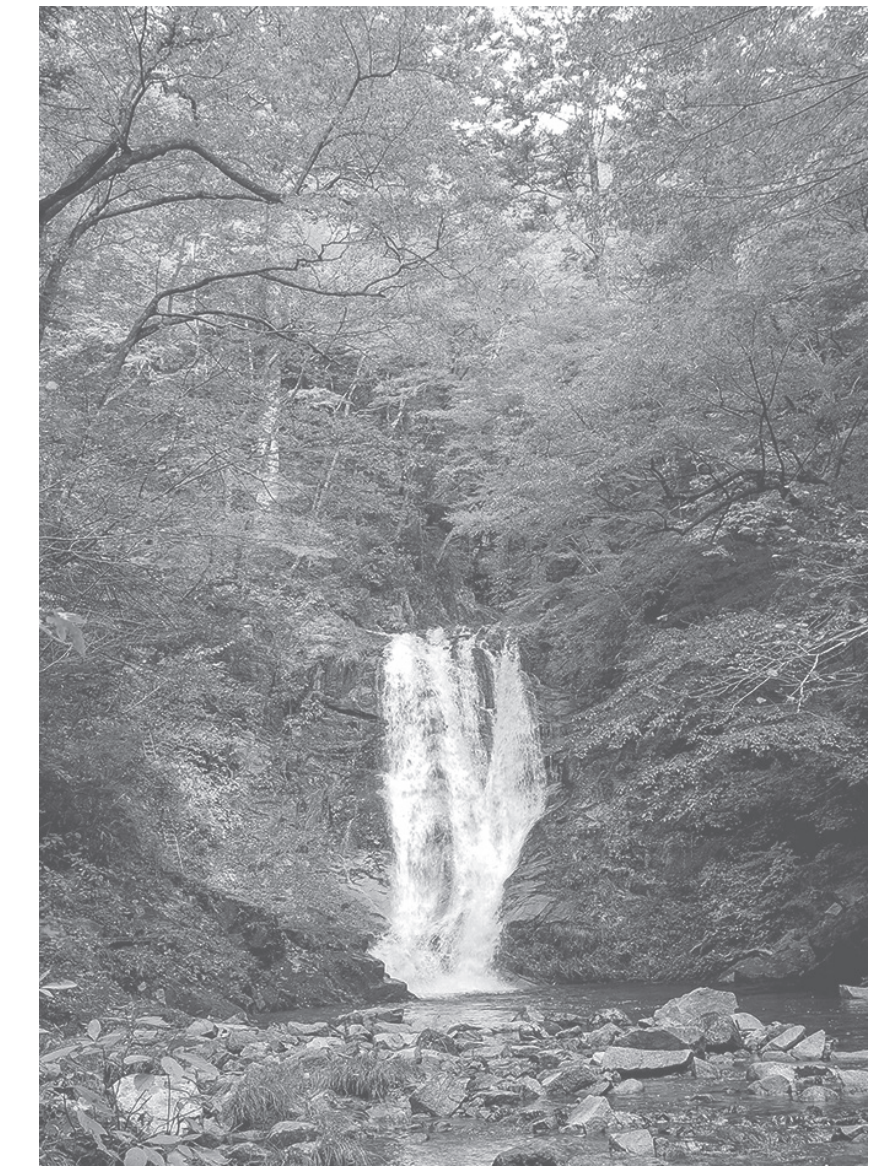
背戸岨に関する心平の最初の随筆が掲載されている

心平は九州の紅葉より背戸岨の紅葉がすばらしいことを強調して、こう記す。「この九州の旅にのぼる前の十月と十一月に二度この溪谷にもべりこんだ。(略)夏井川は鐵路で言へば小川郷川前間、籠場之瀧を中心にした附近がいちばん勝れてゐるがまるで同一地点とも言へる背戸岨が縣下は勿論、大部分の村民にすら知られてゐなかつたといふことは不思議である」と報じている。

「し人」は「詩人」、「二つや会」は「二箭会」と書く。敗戦から2年、まだまだローカル新聞社の活字事情はよろしくなかったのだらう。

戦後、心平は中国から上小川村に帰郷する。すぐ村を明るくするための集まり「二箭会」ができる。地元の前10、11月といえは、同年10、11月に決まっていた。年譜とは1年の違いがある。それから証拠探しが始まった。

二箭会は、村に疎開していた知識人の講演会や、村民歌(「小川の歌」)作詞は心平)の制作、子供たちによる狂言、村の青年によるオリジナル劇の上演などの文化活動を展開した。



夏井川の支流・江田川を探索して世に紹介したのも、二箭会の功績の一つだったという。心平の「こで長らく中学校長を務めた草野悟郎さん(故人)が、「縁者の目」という随筆に『背戸岨』命名のエピソードを書き残している。

「元々この川(筆者注・江田川のこと)は、片石田で夏井川に合流する加路川に、山をへだてて平行して流れている夏井川の一支流であるので、村人は俗に『セドガロ』と呼んでいた」

加路川流域に住む人間には、裏山の谷間を流れる江田川は「背戸の加路(せどのがろ)」「裏の加路川」だった。川の上流は険阻で滝が多い。素晴らしい景観だが、普通の人が入り込めるようなところではない。せいぜい猟師や溪流釣り師が知っている程度だった。

二箭会が村人とともにその探勝会を開いた。

「私たちは、綱や鉈(なた)や鎌などをもって出かけて行った。総勢十数名であった。心平さんは大いに興を起こして、滝やら淵やら崖やら、ジャングルに一つ一つ心平さん一流の名を創作してつけて行った。蛇や墓にも幾度も出会った。その後、心平さんはこれを旅行誌『旅』で紹介して、やがて、今日の有名な背戸岨廊になった」

しかし近年、観光情報を発信する市役所内に「セドガロ」の認識が広まってきた。某公共放送も「セドガロ」と正しく読むようになった。これだけでも喜ばしいことではある。

# 謹んで年頭のごあいさつを申し上げます



令和5年 元旦

おかげさまで33年、まごころの供養をさせていただきます。おります。

**いわきペット霊園**

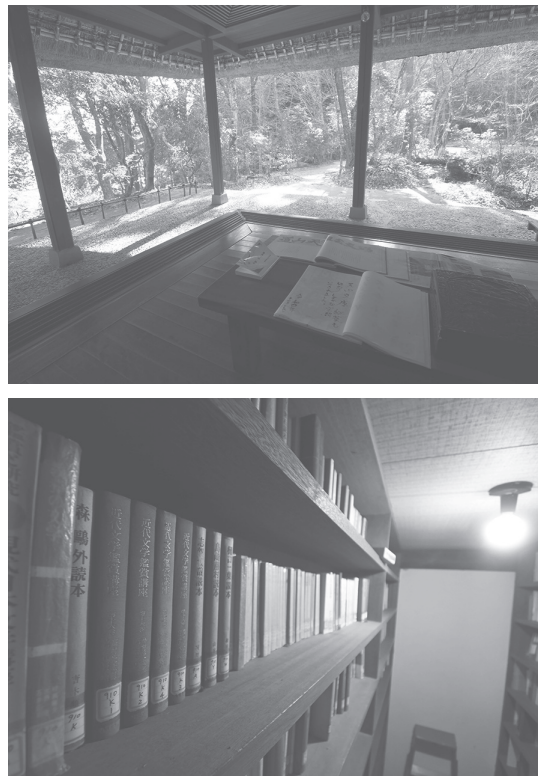
霊園 / いわき市遠野町滝字深山口3  
TEL (0246) 89-4373

商工会は事業者のため  
行きます・聞きます・提案します!

**遠野町商工会**

会長 平子 好男  
副会長 鈴木 伸幸  
副会長 鈴木 弘之

T 9720161 いわき市遠野町上遠野字堀切12の1  
電話(89)2174 FAX(89)2473  
Email tohno1@coral.ocn.ne.jp



# 村は再生を図る場所

いわき地域学会代表幹事

吉田 隆治

を名譽村民に推戴することで、大工や左官といった専門職以外の労働も村の共同作業で行われ、炭100俵を贈ることになった。

文庫の本も心平のほか、友人や未知の人々が「新居の借家にトラックで木炭が届く。10俵を下ろしたところで置き場所がなくなり、近くの木炭屋に困り、近くの木炭屋に保管してもらい、のちにほとんどを養老施設に寄附した。

心平は木炭のお礼に蔵書3000冊の寄贈を決め、うち2000冊を木のトラックに載せて村へ届けた。木炭は、2年目からは寄贈を辞退した。

落成式の7月16日に第1回「天山祭り」が行われた。以後、毎年同日に川内に着いたばかりの庭には「十三夜の池」が設けられ、周囲には樹木76種が植えられた。

滞在は長いときで5カ月に及んだ。早いときは6月初旬に来村した。年次詩集をまとめるのも、

落成式の7月16日に第1回「天山祭り」が行われた。以後、毎年同日に川内に着いたばかりの庭には「十三夜の池」が設けられ、周囲には樹木76種が植えられた。

滞在は長いときで5カ月に及んだ。早いときは6月初旬に来村した。年次詩集をまとめるのも、

あるとき、心平はまな板用に栗の木の切れ端を木の棟梁に削ってもら

かっていたが、いつまでも（現在は7月第2土曜日）に固くした足どりにする。「別荘」に近づくにつれて、心平は「君、こころはしっかりとした足どりにする。心平に身をまかせたんだね」といふ。

同文庫は来村した心平が寝泊まりする「別荘」に近づくにつれて、心平は「君、同じ南側でも育

は村に長期滞在中、月遅れ盆には村の野球大会で始球式を行ったり、成るところに立つ。そのふもこの時は、と近くに阿武隈民芸館を模倣替えた草野心平資

心平は還暦を過ぎても無茶な飲み方を続けた。つを「かわうち草野心平」に託し、心平は遺言として「記念館」として一括管理

昭和41（1966）年遅れ盆には村の野球大会で始球式を行ったり、成るところに立つ。そのふもこの時は、と近くに阿武隈民芸館を模倣替えた草野心平資

心平は還暦を過ぎても無茶な飲み方を続けた。つを「かわうち草野心平」に託し、心平は遺言として「記念館」として一括管理

昭和48（1973）年3月3日には「ああ、深酒」が発足したばかりのいわき地域学会が、『川内村史』の編纂（へんさん）に「心平の随筆によると、はすまゝ。昔は自分に引き受けたとき、私は、にした」

昭和24（1949）年2月1日、読売新聞福島版に詩人草野心平の随筆が載る。

川内村・長福寺の矢内始性に打たれた心平は、翌年8月と翌々年6月、やぶ）き真壁造り正方形の建物で完成し、「天山文庫」と名付けられた。

心平は還暦を過ぎても無茶な飲み方を続けた。つを「かわうち草野心平」に託し、心平は遺言として「記念館」として一括管理

昭和48（1973）年3月3日には「ああ、深酒」が発足したばかりのいわき地域学会が、『川内村史』の編纂（へんさん）に「心平の随筆によると、はすまゝ。昔は自分に引き受けたとき、私は、にした」

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

終戦から3年半がたった昭和24（1949）年2月1日、読売新聞福島版に詩人草野心平の随筆が載る。

川内村・長福寺の矢内始性に打たれた心平は、翌年8月と翌々年6月、やぶ）き真壁造り正方形の建物で完成し、「天山文庫」と名付けられた。

心平は還暦を過ぎても無茶な飲み方を続けた。つを「かわうち草野心平」に託し、心平は遺言として「記念館」として一括管理

昭和48（1973）年3月3日には「ああ、深酒」が発足したばかりのいわき地域学会が、『川内村史』の編纂（へんさん）に「心平の随筆によると、はすまゝ。昔は自分に引き受けたとき、私は、にした」

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

昭和24（1949）年2月1日、読売新聞福島版に詩人草野心平の随筆が載る。

川内村・長福寺の矢内始性に打たれた心平は、翌年8月と翌々年6月、やぶ）き真壁造り正方形の建物で完成し、「天山文庫」と名付けられた。

心平は還暦を過ぎても無茶な飲み方を続けた。つを「かわうち草野心平」に託し、心平は遺言として「記念館」として一括管理

昭和48（1973）年3月3日には「ああ、深酒」が発足したばかりのいわき地域学会が、『川内村史』の編纂（へんさん）に「心平の随筆によると、はすまゝ。昔は自分に引き受けたとき、私は、にした」

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

昭和35（1960）年文庫の建築材料はほとんどが村人の寄付によるも

Happy New Year 2023.1.1

FRUIT ART

一般社団法人 日本フルーツアートデザイナー協会  
Japan Fruit-Art Designer Association  
http://www.fruit-art.com

～子どもたちの未来に夢と憧れを～

日本フルーツアートデザイナー協会は子どもたちの未来を応援しています。

info@fruit-art.com • LINE • メッセージャー  
TEL:03(5413)7367 FAX:03(6683)2010

2023年 1/28 Sat.

## 子どもや孫の未来を守る健康セミナー

～子宮頸がんワクチン Q&A～

日本の子宮頸がんワクチンは「看過できない被害を生んだ」として、2013年6月に事実上その接種を停止しました。しかしながら、あれから僅か9年後の2022年にワクチン接種勧奨事業が再開され、今度は男児までもが対象とされます。保護者の皆様には「子宮頸がんワクチンの必要性和被害の歴史」を知り、＜正しい選択＞をして欲しいという願いを込めて、この勉強会を開催させていただきます。共に学び、子ども達の未来を守りましょう。

スペシャルゲスト：池田 としえ氏

【子宮頸がんワクチンから見える今後の日本と世界の行方】

被害者に寄り添い聞いた「子宮頸がんワクチン問題」の10年間の真実をもとにお話頂きます。

＜プロフィール＞  
早稲田大学院修了 / 東京都日野市議会議員6期目  
全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会事務局長  
全国有志議員の会代表



講師：高梨 由美氏 (免疫抗体管理士 / 体内環境師®)

【免疫は母から受け継がれる神秘】


「免疫システムを知らなければウイルスなんて怖くない」と題して、人間に与えられた神秘的免疫システムの（いろはを楽しく・解りやすくお話しさせていただきます。

＜プロフィール＞  
日本フルーツアートデザイナー協会代表  
いわき短期大学幼児教育科卒業 / 幼稚園教諭 / 保育士  
東日本国際大学・いわき短期大学地域連携研究センター客員研究員  
福島県立磐城農業高等学校イノベーションコースト構想外部講師



2023年1月28日(土) 13:30～16:30 (開場 13:15)  
参加費：1,000円 (大学生以下無料) 定員：150名  
会場：学校法人昌平養東日本国際大学 1号館 201  
主催：一般社団法人日本フルーツアートデザイナー協会 カラダ KIREI 事業部  
後援：いわき商工会議所 / いわき民報社 協力：公衆衛生を考える会 / 学校法人昌平養

お申込み

被害者少女達の  
実録動画



# 心平と吉野せい 50余年年の友情

いわき市立草野心平記念文学館

専門学芸員 長谷川 由美

草野心平といわき地域の詩人 兵検査のために帰国した192  
 たちとの交友が始まるのは、今 3(大正12)年7月、亡兄・民  
 から100年前。中国の嶺南大 平との合本詩集『廢園の喇叭』  
 学で詩を書き始めた心平は、徴 を謄写版印刷で刊行した。これ  
 を訪ねたことがきっかけで、心



平は、好間町北 好間の通称菊竹 山の開墾をして いた詩人・三野 混沌(1894 ~1970 本 名「吉野義也」、 混沌の妻で後に 作家となる吉野 せい(1899 ~1977)と 知り合い、三人 と生涯にわたる 親交を結ぶこと となる。

この頃、いわ ぎ地域では、若 い詩人たちが謄 写版印刷や活版 印刷で同人誌を 発行していた。 12年から17年か けて伝道師とし て平に暮らした 詩人の山村暮 鳥(1884~ 1924)の元 …… 菊竹山にて 草野心平と 吉野せい

に文学を志す若者たちが集い、 また、混沌が暮鳥と深い親交を 持ったことで、暮鳥によって播 かれた詩の種が開花しつつあっ たのだ。14年から38(昭和13) 年までに31誌113冊が発行され、 延べ1000人を超える寄 稿者の中に、心平や満直、混沌、 せいもいた。

いわきの方が耳にしたことが あるに違いない文学賞「吉野せい 賞」は、心平の勧めと励まし を受け、せいが再びペンを執ら なければ生まれなかっただろう。

せいは、少女時代から「福島 民友新聞」や暮鳥編集の雑誌に 小品や短歌などを発表していた が、結婚後、まとまった作品は ほとんどない。70年4月に混沌 が没した後、せいは、8月に心 平と混沌も同人だった詩誌「歴 程」三野混沌追悼号に「ついで」と 題した一文を寄稿、11月から 2年間、「いわき民報」に「菊 竹山記」を断続的に連載した。

72年4月、菊竹山の混沌の詩 碑の除幕式に出席した心平が、 せいに強く執筆を勧めたこと は、せいの「信といえるなら」 により知られているが、二人が 交わった書簡を読み解くと、そ の2年前から、心平が執筆を勧 めていたことがわかる。

せいの「北風の通信」は、暮 鳥が20年1月に一家で菊竹山に 移り、結婚前の混沌と共に理想 生活を現しようとしたが叶わ ず、1週間で菊竹山を去った時 期を主題として、暮鳥が混沌に 宛てた書簡を軸に描かれてい る。400字詰原稿用紙26枚の

この作品は、70年8月から10月 2日までに心平に送られたと推 定される。

いわき市立草野心平記念文学 館で所蔵する書簡はこの頃から のもので、心平は、「北風の通 信」の前後を書き足し単行本に することを強く勧め、躊躇しな がらも執筆への意欲を綴ったせ いの返信を受けて、題名や構成 についての助言を書き送った。 せいが農閑期に一気に書き上げ た『暮鳥と混沌』は、心平の跋『暮 鳥と混沌の思い出』を収録して、 『歴程』の発行所・歴程社から 限定300部で71年10月に刊行 された。

74年11月に彌生書房から刊行 されたせいの『涙をたらした神』 は『暮鳥と混沌』とつながる「一 連不離の記録」だった。翌年4 月、せいは『涙をたらした神』で、 第6回大宅壮一ノンフィクショ ン賞と第15回田村俊子賞を受賞 する。同書の帯文を執筆した心 平は、いずれの授賞式にも出席 し、76歳の「新人作家」として 各界の注目を集めることとなっ たせいを気遣う書簡を送ってい る。

心平とせいの初対面は、24年 7月、心平、混沌、満直らが講 師となって平で開いた詩の講演 会の後、帰りの磐越東線がなく なった心平が、混沌とせいの家 に泊まった翌朝だった。以来、 50余年にわたり育まれた友情と 信頼は尽きることなく、二人が 交わった書簡や、互いを記した 著作が、現在のわたしたちに往 時を伝えている。

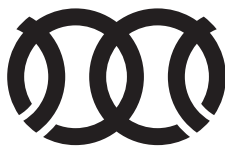
謹んで新年のごあいさつを申し上げます

「献血サポーター」登録企業

ISO 9001 品質  
ISO 14001 環境

住みよい環境を創造する

総合建設業



## 株式会社 加地和組

代表取締役 川和玄央

いわき市平字小太郎町4-11 ☎(0246)23-8261(代)



# 謹賀新年

令和5年 元旦

# 「賢治発見の詩人」草野心平

いわき賢治の会 会長 小野 浩

草野心平は、「カエルの詩人」「天の詩人」と呼ばれています。が、今回は「賢治発見の詩人」と呼ばせてください。

心平は賢治に、直に会うことは一度も無く、文通、同人誌、詩誌、友人からの話だけの交流でしたが、「賢治のポエジー」を、日本詩人の中で誰よりも早く受け止め、「賢治発見の詩人」として「賢治作品の初期の読者、共感者、研究者、発信者」という役割を生涯、担いました。

そして、賢治没後の心平の行動こそが、宮沢賢治を「岩手の詩人・童話作家」から、「世界の賢治」に変えたと言っても過言ではないからです。

また、心平と賢治には共通項があり、心平は「神はおれから遠ざかり、近づいたのは石と天」と言っていました。賢治も「石ッコ賢さん」と呼ばれ、物探集に夢中になった中学校時代があり賢治宇宙を走る童話「銀河鉄道の夜」を残しています。そして、なんといっても、心平、賢治でなければ生れ出ない、オノマトペ(擬声語、擬態語)を、詩に取り入れた達人たちでした。

賢治と心平の交流は、1924(大正13)年から始まりました。その年、心平は21歳、賢治は28歳。同年4月、賢治は第一詩集『心象スケッチ 春と修羅』(1000冊)を刊行します。8月、その中の1冊が磐城中学校(現磐城高校)の後輩、佐々木周雄により、中国・広東省広州の嶺南大学の学生だった心平に送られ、一読瞠目した心平は、この時から「賢治発見の詩人」となったのです。

翌1925(大正14)年7月、中国から帰国した心平は、賢治に手紙を出しました。内容は同年4月に創刊した同人詩誌『銅鑼』への勧誘でした。賢治から「私は詩人としては自信がありませんが、一個のサイエンティストとしては認めていただきたいと思います」との有名な返事が送られてきたのです。

「宮沢賢治はどんな詩人か。彼は植物や鉱物や農場や虫や音楽や動物や人物や海や万象を移動カメラ

に依って眼いっぱい展開させる。光と音への異常な感受性によって適確に自然を一卷に凝縮した東北以北の純粹トーカー。」

「宮沢賢治の童話集『注文の多い料理店』は日本の童話界に趣きの異なった一陣の風を吹き送った。」「(詩神) (1931(昭和6)年7月号)と、心平は賢治研究の先駆けとなる「宮沢賢治論」を発表したのです。

そして、「宮沢賢治はどんな詩人か。彼は植物や鉱物や農場や虫や音楽や動物や人物や海や万象を移動カメラ

に依って眼いっぱい展開させる。光と音への異常な感受性によって適確に自然を一卷に凝縮した東北以北の純粹トーカー。」

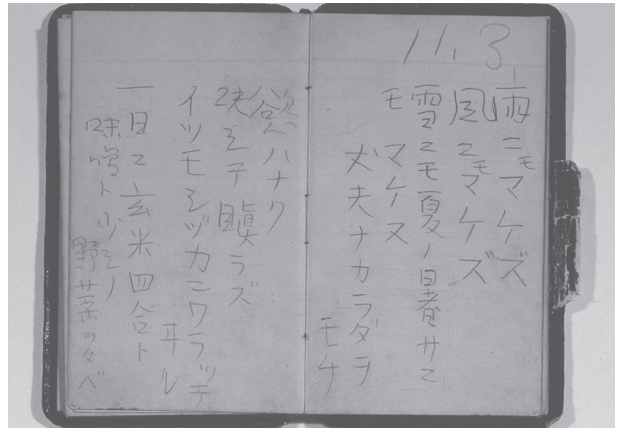
「宮沢賢治の童話集『注文の多い料理店』は日本の童話界に趣きの異なった一陣の風を吹き送った。」「(詩神) (1931(昭和6)年7月号)と、心平は賢治研究の先駆けとなる「宮沢賢治論」を発表したのです。



宮沢賢治花巻農学校教諭のころ。大正10〜15年

賢治は精神歌をつくり自作劇を上演するなど独創的な授業をして、生徒から慕われていました。資料提供 林風舎

のである」「(詩神) 1926(大正15)年8月)。



宮沢賢治「雨ニモマケズ手帳」。昭和6〜8年文学作品の草稿などのほか、昭和6年11月3日(推察)に賢治の折り「雨ニモマケズ」が記されていました。資料提供 林風舎

「宮沢賢治はどんな詩人か。彼は植物や鉱物や農場や虫や音楽や動物や人物や海や万象を移動カメラ

に依って眼いっぱい展開させる。光と音への異常な感受性によって適確に自然を一卷に凝縮した東北以北の純粹トーカー。」

「宮沢賢治の童話集『注文の多い料理店』は日本の童話界に趣きの異なった一陣の風を吹き送った。」「(詩神) (1931(昭和6)年7月号)と、心平は賢治研究の先駆けとなる「宮沢賢治論」を発表したのです。

賢治追悼」を刊行します。賢治の遺稿「龍と詩人」、弟清六「思い出」、高村光太郎「コスモスの所持者宮沢賢治」そして心平の呼びかけにより詩人31名の追詩が掲載されました。

次に全集出版の出版社を探し回りました。地方無名詩人の全集づくりの例が無い中、心平の知り合いの書店文圃堂(野々上慶一)が、心平の熱意にほだされて選集的全集(三巻)として、引き受けてくれたのです。

作品の選択は心平が行い、「宮沢賢治全集」は、第一回配本・第三巻(童話篇)が昭和9(1934)年10月、第二回配本・第一巻(詩篇)が昭和10年7月、第三回配本・第二巻(詩篇)が昭和10年9月に発刊されました。心平の賢治発見・発信から10年目、作品の全国発信、いや世界発信の大きな一歩が始まったのです。以後、心平が望んでいた「世界の賢治」になっていたのです。

賢治発見の発信を精力的に心平は行いました。「現在の日本詩壇に天才がいるとしたら、私は名譽ある『天才』は宮沢賢治だと言いたい。異常なケイン力では彼を私をひきつけるのである。今は只、世間では殆んど無名に近い一人のすばらしい詩人の存在を大声で叫びたい

賢治作品の全体を紹介する使命を感じ、帰京した心平は動き出しました。翌年1月、「宮沢

賢治追悼」を刊行します。賢治の遺稿「龍と詩人」、弟清六「思い出」、高村光太郎「コスモスの所持者宮沢賢治」そして心平の呼びかけにより詩人31名の追詩が掲載されました。

次に全集出版の出版社を探し回りました。地方無名詩人の全集づくりの例が無い中、心平の知り合いの書店文圃堂(野々上慶一)が、心平の熱意にほだされて選集的全集(三巻)として、引き受けてくれたのです。

作品の選択は心平が行い、「宮沢賢治全集」は、第一回配本・第三巻(童話篇)が昭和9(1934)年10月、第二回配本・第一巻(詩篇)が昭和10年7月、第三回配本・第二巻(詩篇)が昭和10年9月に発刊されました。心平の賢治発見・発信から10年目、作品の全国発信、いや世界発信の大きな一歩が始まったのです。以後、心平が望んでいた「世界の賢治」になっていたのです。

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます



令和5年 元旦

ISO 9001 認証取得  
ISO 14001 認証取得

### 信用と 技術の

1896年創業

総合建設業

# 堀江工業株式会社

代表取締役社長 長谷川 浩一

いわき市平字尼子町60-1

☎(0246)23-2311代

いわき市内の  
放送局  
いわきの“今”を  
伝えていきます

## 76.2MHz FMいわき



### 株式会社いわき市民コミュニティ放送

〒970-8026 福島県いわき市平字大町5-1 TEL:0246(25)0763



福島県現代詩人会会長、福島県文学賞審査委員ほか

「歷程」同人 齋藤 貢氏

# 民平の詩と心平

草野民平の詩「あるうか」

「夜」は、△彼方の月の出に／月をめぐって、われはゆく夢の旅で締め括られる。この詩は、心平の詩集『第百階級』所収の詩「月の出と蛙」の八ヶ月をめぐって吾等ゆく夢の脚▽(※下注参照)をどこか連想させないだろうか

心平の兄民平は結核性脊椎カリエスによって16歳で死去した。後に、心平は自ら編んだ『草野民平の詩集』の巻末に「兄民平のこと」という文章を次のように書いている。

△私たちのきょうだいは長女綾子、その四ツ下ぬ病ひ抱きて省みふる

さとの山にび色の山▽など、民平の短歌には、足に痛みを抱えた少年の苦悩が切なく表現され、詩よりもこの短歌の方に私は早熟の才を感じる。

しかし、心平は短歌ではなく△その詩に私は瞳目した▽と言う。

△兄の詩には理解できない変な詩があったが、その分らない作品が分りすぎる作品よりも私には魅力があった。民平の詩作品のなかの約10篇ほどは大正3、4年頃の日本の詩界の作品群に比べても類似傾向のものはない、く、言わば異端な新鮮さがある▽(兄民平のこと)と。

確かに、民平の詩は、魔の首領／(略)／直立

したる冷笑と／古今の金言／僧院長の大あくび／文体 肉の彫刻／俺といふもの▽(詩「俺の説明」)とか、△鼻は陶器／瞳は羅盤／かくて八面玲瓏たる聖童／(略)▽(詩「聖童淫心」)など、民平の詩は、暮鳥の詩と同様に、意味的に遠いものを比喩的に結びつけようとする言語的な実験に近い。それをさらに発展させたのが、心平の詩集『第百階級』の「生殖」などの視覚詩などである。

民平の詩が多く語られないのは、その詩の方法の難解さに起因するのだから。詩語の熟度が不足している感も否めない。

しかし、朔太郎が短歌的な抒情からイメージによる詩へと転じたのは大正3年、20歳の時だった。民平に余命がもう少しあれば、暮鳥や朔太郎に劣らない新たな詩的世界が生み出されたのではないかと想像される。

※注詩「月の出と蛙」

月をめぐって吾等ゆく夢の脚

草野心平記念文学館は草野さんの生家にも程近いのですが、おさない草野さんを育んだ自然の中に立ち、草野さんが眺めた山や野を眺め、その後ひろがる空を眺めて

いますと、草野さんの存在が、実に身近なものに感じられてくるんです。たしか中学に入ったばかりの頃だと思いが、たまたま何かで蛙の詩を読んで大変面白かつ

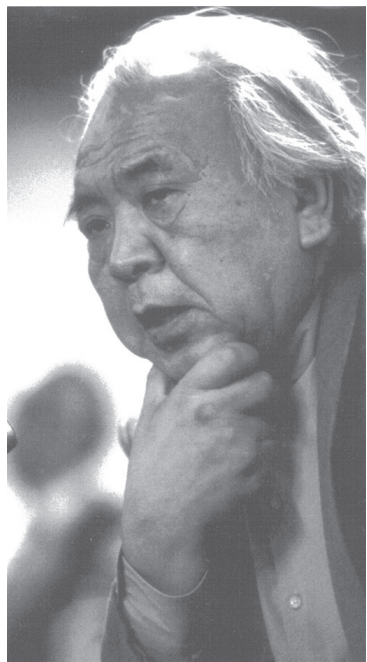
出て来る蛙が実に魅力的なんです。草野さんと同じく「歷程」の同人の山本太郎という詩人がいますけれど、彼の蛙の詩は、蛙を擬人化したものじゃまったくないんです。擬人化どころか、当時、戦争中ということもあってヒステリックに叫んでいた世の大人たちよりも、その蛙の方がはるかに生き生きとした、ある意味でははるかに人間的な存在だという気がしましたね。

蛙の詩ばかりじゃなく新しい詩集やエッセー集なども次々と読むようになったのですが、面識をえたのはかなりあと、1960年代になってからです。何とも忘れがたい経験でした。草野さんという人は、ものに名前を付けることうものは自分の観念によって相手に結びつけるものではなく、相手との響き合い、心え合い、合意によって自ら生まれるものであって、そういう姿勢が終始一貫して草野さんにはあり、独特の言葉になって現れている。

ある朝、電話がかかってきました。草野さんか。寝ぼけ眼で出たら、独特のしゃがれ声で「タベね、ゴーギャンの画集を観ていたんだよ。ゴーギャンの赤って、あれ、哀しみの色だね。」

# 草野さんは命名の名人

共感力が独特の言葉に



いわき市立草野心平記念文学館 名誉館長

栗津 則雄氏

草野心平記念文学館は草野さんの生家にも程近いのですが、おさない草野さんを育んだ自然の中に立ち、草野さんが眺めた山や野を眺め、その後ひろがる空を眺めて

いますと、草野さんの存在が、実に身近なものに感じられてくるんです。たしか中学に入ったばかりの頃だと思いが、たまたま何かで蛙の詩を読んで大変面白かつ

出て来る蛙が実に魅力的なんです。草野さんと同じく「歷程」の同人の山本太郎という詩人がいますけれど、彼の蛙の詩は、蛙を擬人化したものじゃまったくないんです。擬人化どころか、当時、戦争中ということもあってヒステリックに叫んでいた世の大人たちよりも、その蛙の方がはるかに生き生きとした、ある意味でははるかに人間的な存在だという気がしましたね。

蛙の詩ばかりじゃなく新しい詩集やエッセー集なども次々と読むようになったのですが、面識をえたのはかなりあと、1960年代になってからです。何とも忘れがたい経験でした。草野さんという人は、ものに名前を付けることうものは自分の観念によって相手に結びつけるものではなく、相手との響き合い、心え合い、合意によって自ら生まれるものであって、そういう姿勢が終始一貫して草野さんにはあり、独特の言葉になって現れている。

ある朝、電話がかかってきました。草野さんか。寝ぼけ眼で出たら、独特のしゃがれ声で「タベね、ゴーギャンの画集を観ていたんだよ。ゴーギャンの赤って、あれ、哀しみの色だね。」

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和5年 元旦



本年もよろしくお祝い申し上げます

# いわきの企業を 応援します

公益社団法人 **ICSN** いわき産学官ネットワーク協会

会長 猪狩 正明

いわき産業創造館(ラトブ6階)内 ☎0246-21-7570 <https://iwaki-sangakukan.com>

Happy New Year  
2023

# Honeys

ハニーズ

本社 / いわき市鹿島町走熊字七本松 27-1

TEL (0246) 29-1111 (代表)

URL <https://www.honeys.co.jp/>

